

～わたしと市民会館の思い出～

かつての市民会館の職員が、市民会館館長と思い出を振り返りました。



彦根市民会館 館長
林 達也

みずほ文化センター所長
(元彦根市文化体育振興事業団職員)
小寺 定樹

彦根市民会館 次長
(元彦根市文化体育振興事業団職員)
藤野 宗智

林 本日は、過去に市民会館に勤務されていたお二人に当時は振り返っていたいただき、印象に残っている出来事を中心にお話をいただきましたと思います。

市民会館はかつて滋賀県の文化施設の中心的な存在だった

小寺 文化施設の舞台の仕事に携わって約40年が経ちますが、そのうち17年間は市民会館に勤務していました。

昭和39年に市民会館が完成し、(財)彦根市文化体育振興事業団が昭和54年に発足するまでの間、会館では貸館業務が中心でしたが、当時は大津の滋賀会館とこの彦根市民会館の他に大きなホールがなかったため、滋賀県下の文化施設の中心的役割を担っていました。

事業団が発足してからは、市民会館で自らが事業の企画と運営を行うようになりました。最初の企画事業は、中村メイコさんの講演会だったことを今でも覚えています。

藤野 私は、平成3年に財団に入り、平成7年から8年にかけて市民会館の舞台担当をしていました。平成9年にひこね市文化プラザができてからは、そちらで舞台担当をしていました。

ピーク時には年間で260組近くの結婚式が挙げられた

小寺 市民会館は結婚式場としても

たくさんご利用いただいています。ピーク時には1年間に260組近くの結婚式が挙げられていました。今の教育委員会事務局が第2ホールだったのですが、ホールを2つに仕切って披露宴を2組同時に開催していたときもあったと先輩から聞いたことがあります。

林 先日も市民会館で結婚式を挙げたというのを懐かしんで訪れてくださった方がいらっしゃいました。

小寺 結婚式場としてかなりの需要があった頃は、本当に忙しく、「会館の職員も巫女さん姿となり、市民の皆さんの新たな人生の門出をお祝いするお手伝いをしていた」ということも聞いていました。

何も無い舞台が演目の世界に変化していく様子に感動

藤野 私は幼少の頃、ピアノの発表会があり市民会館の舞台で演奏したことが市民会館の最初の思い出なのですが、仕事の中で一番印象に残っているのは、真っ暗でもなかった舞台上に、一つの「図画」をもとに音響や照明、太道具などの各担当がそれぞれを見て作業を進めると、演目の世界が目の前に組み上がっていく様子に感動したことを覚えています。

林 この市民会館も、地域に大きなホールがなかった時代に市民の皆さん念願の文化施設として建設され、そこに人が集まり、たくさんの事業

を企画し実施していたものが、現在も続いている。市民会館の歴史そのものが、舞台が組み上がっていくさまとリンクするエピソードだなと感じました。

小寺 日々新たな文化が生まれ、嗜好も細分化されている中で、特に私は伝統芸能のような、昔からのものを次の時代に引き継いでいくことを大切にしたいです。鑑賞だけがホールの機能ではなく、市民の皆さんが自ら演じる、文化活動を継続していただきたく手助けができればと思っています。コロナ禍で本物の芸術に触れる機会を作ることは難しい面がありますが、試行錯誤して、そういう機会を提供ができるよう努めていきたいと思っています。

藤野 市民会館は閉館してしまいましたが、市内には他にも文化施設があります。文化の薫り高い彦根を体現していくため、これらの施設の管理運営を確かなものとし、地域の皆さんが文化活動を継続できる場所や発表する場を提供していくことをモットーに、これからも文化行政に携わってまいりたいと思っています。

市民の皆さんが文化活動を継続していただけるよう努めます

彦根市の今後の文化施設のあり方について～市民会館 館長からメッセージ～

私たち職員は、優れた文化芸術に触れる機会を提供し、文化・芸術活動の取組環境を整備することで、市民の皆さんの創作意欲の向上や心の豊かさを醸成することに繋がるよう努めているところです。

コロナ禍の中、市民の皆さんの文化活動が途絶えないような支援の方策として、ひこね市文化プラザをはじめとした市内の文化施設を利用されるにあたり、感染症対策を講じたうえで貸館利用できるように条件を整えたり、新型コロナウイルス感染症を理由として予

約をキャンセルされた場合には、施設使用料の還付に応じるなど、コロナ禍においても柔軟に文化活動を進めていただける環境づくりに取り組んでいます。

また、ひこね市文化プラザ内で9月に新ギャラリー(下を参照)の供用を開始するなど、今後も、市内の地域性やニーズに合致し、利用していただきやすい文化施設の管理運営に努めてまいります。皆様のご利用、ご参加をお待ちしております。

彦根市民会館 館長 林 達也



ひこね市文化プラザ

▶所在地 野瀬町 187-4
▶☎ 26-8601 / ☎ 26-8602
▶開館年月日 平成9年2月11日
▶施設 グランドホール、エコーホール、メッセホール、特別会議室、研修室、和室研修室、視聴覚室、展示ロビー
▶休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、12月29日～翌年1月3日(保守点検のため臨時休館する場合あり)

彦根の文化拠点は、それぞれの施設に受け継がれています!



みずほ文化センター

▶所在地 田原町 11
▶☎ 43-8111 / ☎ 43-8112
▶開館年月日 平成11年4月1日
▶施設 多目的ホール、練習室、展示コーナー
▶休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)、国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日、12月29日～翌年1月3日(保守点検のため臨時休館する場合あり)

ひこね市文化プラザ 新「ギャラリー」の供用を開始します!

文化芸術団体などが展示発表の場として利用できる「ギャラリー」が9月1日(水)、文化プラザのグランドホール棟内に誕生します。新たな展示スペースとしてたくさんのご利用をお待ちしています。



- ①利用しやすい
- ▶常設ギャラリーのため使い方が簡単
 - ▶夜間の展示会も可能(22:00まで)
 - ▶基本的な設営はスタッフが行う(事前打合せ要)
- うれしい
魅力が
いっぱい!

- ②料金が魅力的
- ▶展示目的に利用するバックパネルやスポットライトなどの備品使用料の負担なし(展示目的以外の利用は別途負担)
 - ▶文化祭協賛や文化団体の会場使用料の減免適用あり(申請要、最大で使用料の50%減免)

- ③整った設備環境
- ▶空調設備あり(別途損料) / ▶男女トイレ完備 / ▶大規模駐車場で来場者も安心

